

日本建築学会「メキシコ中部の地震災害調査団」速報会 付・台湾東部で発生した地震(2.6)の災害調査報告

2017年9月19日午後1時14分(現地時間)ごろ、メキシコプエブラの南約55kmを震源とするM_w7.1の地震が発生し、同地域において多数の建物等が倒壊あるいは損壊しました。日本建築学会では、鉄筋コンクリート構造の耐震性に関する研究者を中心に5名の調査団(団長: 斉藤大樹・豊橋技術科学大学教授)を現地に派遣し、メキシコシティを中心に建築物の被害調査を実施しました(調査期間: 1月18日~23日)ので、その調査結果の速報会を開催いたします。

なお当日は、2018年2月6日台湾東部で発生した地震による被害について、現地を調査された研究者をお招きして報告いただくことにしました。併せてご参加ください。

主催 日本建築学会 災害委員会
共催 日本地震工学会 地震災害対応委員会
日時 2018年2月16日(金) 10:30~12:45
会場 建築会館 会議室(東京都港区芝5-26-20)

<https://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>

プログラム(予定につき、変更する場合があります):

1. [調査概要](#) 齊藤 大樹(団長、豊橋技術科学大学)
2. [地震概要](#) 田尻清太郎(東京大学)
3. 調査結果
 - 1) [市内中心部建物](#) 松井 智哉(豊橋技術科学大学)
 - 2) [市内南域および官庁建物](#) 壁谷澤寿一(首都大学東京)
4. [まとめ](#) 齊藤 大樹(前掲)
5. 質疑応答

司会: 田尻清太郎(前掲)

記録: 中村 聡宏(建築研究所)

6. [台湾東部で発生した地震\(2.6\)の被害調査報告](#)
崔 琥(東京大学生産技術研究所)
浅井 竜也(名古屋大学)